

平成 29 年度

# 学生によるオレンジリボン運動

## 静岡文化芸術大学 実施報告書



実施主体 文化政策学科 心理学(小杉)ゼミ

実施内容 平成 29 年 11 月 4 日、5 日の大学祭にて啓発活動

### ①事前に取り組んだ内容

ゼミの演習として、児童虐待に関する現状や関連機関等の対応状況について、統計資料や文献、報道番組等の利用をもとに学習し、オレンジリボン運動の必要性について認識を深めた。

### ②実施期間に取り組んだ具体的内容

大学祭では、オレンジリボンおよびグッズの配布、独自に作成した資料の配布、インタビュー調査をおこなった。

インタビュー調査は、高校生から高齢者まで、151名の女性を対象に実施した。

また、11月4日には、浜松市役所が主催する「はままつオレンジリボン運動キャンペーン」に参加し、街頭での啓発グッズの配布をおこなった。

### ③オレンジリボン運動を終えて…

インタビュー調査の結果、オレンジリボン運動の認知度は12.6%、全国共通ダイヤル(189)の認知度は3.4%と、この地域での啓発運動の必要性を痛感した。

虐待については、「あってはならない」「暴力」「こわい」といったネガティブなイメージをもつ人が多い一方、「他人ごとではない」「しつけと紙一重」というように身近なものとして認識している人も多かった。また、身近なところで虐待があった(らしい)と回答した人も20.0%いた。この値は、事前学習からの予測よりも多く、驚かされた。

オレンジリボン運動に対しては、多くの方に関心をもってもらえた。今年度の経験も踏まえ、この活動を次年度も継続したい。

